

## 2022年度（令和4年度） 関西創価小学校 学校評価

### 1. めざす教育像

児童一人一人の健やかな心と身体を育み、確かな学力を育成する  
闊達・友情・根性をモットーとして、世界市民の基盤を育てる  
恵まれた自然環境の中で豊かな感性を磨き、平和の心を育む

### 2. 創価学園ミッション

創造性豊かな世界市民の育成

### 3. 学園生育成ポリシー [関西創価学園一貫教育]

一人も残らず、「平和主義、文化主義、人間主義」のグローバルリーダーに

### 4. スクールポリシー

明日も行きたくなる学校づくり

1. 創立者 池田先生のもとに集い合った全ての児童が「学ぶ喜び」を感じる学校
2. 創立者 池田先生のもとに集い合った全ての児童が「成長する喜び」を感じる学校

未来につながる学校づくり

1. 使命の舞台で活躍する「児童の可能性」を育てる学校
2. 創立精神を学び「平和を希求する心」を育てる学校
3. 世界の平和に貢献する「世界市民」を育てる学校

### 5. 中期的目標

#### (1) 学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

- ① 児童が落ち着いて学習に取り組み、友達と切磋琢磨する中で、基礎・基本の定着を図る。さらに、個に応じたきめ細かな指導や学力保障の取り組み、ICT機器の活用等の指導方法の工夫・改善により、児童に学ぶ楽しさを実感させ、授業や家庭学習等に主体的に取り組む意欲や態度を育成する。
- ② 「基礎的な知識・技能」、「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体的に学習に取り組む態度」、いわゆる学力の三要素から構成される「確かな学力」や、本校の目指す3つの学力（「学んだ力」「学ぶ力」「学ぼうとする力」）を高めることに力点を置いていきたい。「学んだ力」とは、教科をはじめとする学習内容の基礎的・基本的な知識や技能であり、「学ぶ力」とは、問題を考えたり、学んだり、学びあっていく学習方法を含めた学び方である。そして「学ぼうとする力」は、学習内容に関心を持ち、進んで学んでいこうとする意欲や態度である。さらに、活用しよう、深めようとする力でもある。こうした学力をバランス良く育てることを目指し、教育目標や内容を見直していく。
- ③ 学習指導要領総則で示された、育成すべき資質・能力も視野に入れながら、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」という観点や「主体的・対話的で深い学び」という学びの本質的な観点も大事にしていきたい。そして、学級やグループで話し合い、発表し合うなどの協働的な学習や言語活動、各教科等における探究的な学習活動等に力を入れていく。

#### (2) 豊かな人間性を育む教育内容の充実

- ① 価値観の多様化とともに、社会全体にモラルの低下が見られ、社会性や規範意識、道徳心の低下などが指摘

される現状を踏まえ、児童に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせ、豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」の充実を図りたい。特に、人・社会・自然などとかかわる体験活動や異学年交流、「ドリーム・プログラム」(卒業生による講演)の充実、家庭との連携を通して、心の教育の充実に向けた取り組みを推進する。

- ② いじめ、不登校等の未然防止、早期発見・早期解決に取り組み、一人一人を大切にし、児童の好ましい人間関係づくりを推進する。

### (3) 「世界市民」を育成するための教育内容の充実

- ① 「世界市民」育成のために、①「世界の翼」となる英語教育の充実、② 探究型の学習を進め「世界市民」としての「豊かな国際性」を育む教育を推進する。
- ② 英語の短時間学習(英語モジュール)を含めた、英語の授業の充実を目指す。また、創価タイム(総合的な学習の時間)をはじめとした、英語以外の教科での世界市民教育の取り組みを充実させていく。

### (4) 時代に即した学校教育の推進(情報教育・連携教育)

- ① Society5.0の社会に生きる児童は、主体的に対応できるための様々な力が要求される。そのため、ICT機器を学習活動に積極的に活用し、児童の情報活用能力を培うとともに、情報モラル教育を推進し、Society5.0の社会に主体的に対応できる児童の育成を図っていく。
- ② 急激に変化する社会の中で自立した一人の人間として成長していくためには、小学校から中学校へと移行していく段階で豊かな学びと育ちを保障していくことが重要である。そこで、児童の発達を軸に、小学校と中学校が児童の実態や前後のつながりを視野に入れた一貫性のある連携教育(小・中のブリッジプログラム)の充実に努めたい。

### (5) 規律正しい、安全で健康的な学校生活

- ① 遠距離通学者が多い本校の場合、登下校時をはじめとする児童の生活における安全確保は重要な課題である。また、通学時のルールの順守やマナーの向上などは、社会生活を営む上で、是非とも身につけさせたい習慣でもある。ルールの徹底とともに心を育て、思いやりのあるマナーの向上を図る。
- ② 児童の心身の健康を保持・増進していくために、リズムある生活習慣の定着を図るとともに、健康を大切にする意欲や態度を育てたい。また、学校給食では、安全・安心を最優先に衛生管理の徹底に努め、栄養教諭と連携して食に関する指導の充実を図り、望ましい食習慣の確立に取り組んでいく。

### (6) 教員の資質・能力の向上と研修の充実

- ① 創価教育の目指す教育のあり方や、学校が直面する様々な教育課題の解決のため、教員の資質・能力の向上のための各種研修の充実を図る。
- ② 授業力向上のため、校外研修への参加や、意図的・計画的な校内の授業研修を継続的に行っていく。

### (7) 入試広報、児童募集の充実

- ① 少子化が加速する中、本校の目指す教育として掲げている「可能性の育成」、「心の育成」、「世界市民の育成」を柱にした教育活動をより積極的に伝えていく。そのために、教育の具体的な実践映像を効果的に使いたい。また、ホームページを活用することによって教育革新のイメージをアピールしていく。
- ② 学校見学会などの募集行事では、より本校の教育に関する理解を深めていただく機会として、体験授業・体験給食などを実施し、募集に結びつけていきたい。
- ③ 募集要項を受験生や保護者の利便性の拡大を目指し、WEB上に掲載。さらに、WEBを使用しての出願(WEB出願)を活用していく。

## 6. 本年度の重点目標と具体的方策

### 〔1〕「確かな学力」の定着と伸長を図るための教育内容の充実

今年度の重点目標	具体的取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業、全員による公開授業の実施</li> <li>児童や保護者による授業アンケートの実施と活用</li> <li>授業力向上 WEEK を設け、互いの授業を参観</li> <li>各教科で授業研修を推進</li> <li>学習規律の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教員が研究授業や公開授業を部会テーマ、個人テーマに基づいて公開授業を計画的に行う</li> <li>授業アンケートの内容を見直し、授業力向上のための保護者・児童アンケートを実施する</li> <li>授業力向上 WEEK を設け、互いの授業を参観できる機会を設ける</li> <li>各教科部会で授業研修を推進する</li> <li>研究部が中心になり学習規律を定着させるための取り組みを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に基づいて研究授業や授業研究会を実施、全教員が公開する授業を行う</li> <li>授業アンケートにおいて児童、保護者の8割以上が授業への満足度を示している</li> <li>授業力向上 WEEK を設けている</li> <li>各教科部会で授業研修を推進している</li> <li>学習規律が定着してきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語・算数科の研究授業を実施した</li> <li>全教員で各教科の公開授業を実施した</li> <li>12月に授業評価アンケートを実施した</li> <li>学習者による授業者の評価では、肯定的な回答が91.1%であった。特に、「授業は分かりやすい」「先生の指示や質問は分かりやすい」「授業の中で、みんな協力して、よりよい考えや方法を見つけている」との項目では、肯定的回答が95%を超えており、とりわけ高い満足度を示していた</li> <li>学習者の自己評価では、どの項目も肯定的な回答が多かったが、特に、「新しく分かった」「できるようになった」という項目では、「とてもそう思う」と76%以上の児童が回答していた。学習内容を理解することができたとの児童の実感が伴っていることが分かった</li> <li>朝会などで児童に話をして、授業の約束の定着を図った</li> </ul>
<p>(2) 家庭学習と読書教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭学習の手引き」に示された内容をもとに家庭学習の時間を確保し、習慣化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭学習の手引き」に示された時間や内容をもとに、保護者と協力して家庭での学習習慣を身につけさせる</li> <li>WEBの学習教材を有効に活用させる。</li> <li>チャレンジ図書（学年別課題図書）の読了、ノーベルトレ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭学習の手引き」に示された学年の学習時間を学年の8割の児童が達成している</li> <li>WEBの学習教材を活用させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期に家庭学習アンケートを実施</li> <li>家庭学習が定着している児童は、読書にもしっかり取り組んでいることがわかった</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ図書(学年別課題図書)を設定し、読了を推進</li> <li>・ノーベルタイム、ノーベルトレイン(車内読書)を推進し読書習慣の定着を図る</li> <li>・読みきかせを行い、読書を通して心を育成する</li> </ul>	<p>イン(車内読書)、スキマ読書、ワンブック運動などを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ピノキオおはなし会」を実施する</li> <li>・読み聞かせを積極的に行い読書に親しませる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9割以上の児童が、チャレンジ図書(学年別課題図書)を読了している</li> <li>・「ピノキオおはなし会」を実施している</li> <li>・図書の時間や学級の時間を活用して、読み聞かせを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の手引きに示された学年の学習時間を達成している児童は7割未満であった</li> <li>・図書館での貸し出し総数は26,859冊だった</li> <li>・全校児童の89%がチャレンジ図書を読了した</li> <li>・1年生・3年生を対象にした「ピノキオおはなし会」を実施した。2学期に1年生、3学期には3年ぶりに3年生で実施することができた</li> <li>・各教室で教員による読み聞かせを実施した。年間200冊の本の読み聞かせを行った教員もいた</li> <li>・入学前から読み聞かせに取り組んでもらえるように、「読み聞かせリスト」と「読書ノート」を合格者登校日に配布した。家庭での読み聞かせを推奨するために、読み聞かせの重要性を保護者に伝えた</li> <li>・読書への取り組みが評価され、「読書活動優秀実践校」として、令和5年度に、文部科学大臣表彰を受けることになった</li> </ul>
<p>(3) 成長保障と学力保障による学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査を分析し、課題を明確にする</li> <li>・学力に課題のある児童をサポートする <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年はスペシャルスタディーと銘打ち放課後の補習を行う</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該学年の学力の確実な定着に努めるとともに、学力に課題のある児童に、WEBの学習教材を有効に活用するなどして、学力保障の取り組みを行う</li> <li>・高学年における放課後の補習を行う</li> <li>・教科別の部会において、授業改善の取り組みを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力に課題のある児童に対して、担当の教員が補習を行っている [学力調査で課題が認められた児童が対象]</li> <li>・教科部会を設け、児童の課題を明確にし、授業改善に向けて検討している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スペシャルスタディー」を実施した 4年生…木曜日6限目 5年生…月・水曜日放課後 6年生…月・水・金曜日放課後 課題の見られる児童に担任・担当教員で学習支援を行い、基礎力の定着を図った</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の伸長を図るための研修会を開催し、授業を改善する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力調査の結果を受けて、各学年の課題改善への取り組みを行った</li> <li>・I-CHECKを実施し、児童が自身を見直せる機会を設けた</li> <li>・漢字検定には、3年生以上が受検し、一人一人の実力に合わせた個別指導を行った。今年度は、97.6%の児童が合格することができた</li> </ul>
---	--	--	---

〔2〕「豊かな人間性」を育むための教育の推進

今年度の重点目標	具体的取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心を育む道徳授業を目指しての授業実践</li> <li>・授業研究会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の道徳カリキュラムと道徳全体計画に基づき、計画的に授業を進めるとともに、児童の心を育む道徳の授業を実践する</li> <li>・道徳部会が中心になり、授業研究会を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の公開授業を行い、道徳の授業力を高めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践の報告を行いながら、子どもの心を育む道徳の授業の在り方を検討した</li> </ul>
<p>(2) 児童セーフティネットの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が生き生きと学校生活を送るためにケースカンファレンスを開催し、いじめ問題や課題のある児童への対応や協議を重ねる</li> <li>・児童セーフティネット研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に各学期、「学校生活アンケート」を実施する</li> <li>・不登校や学習障がいなど、課題を抱える児童のケースカンファレンスやいじめに関する研修会を開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを実施し、課題を抱える児童のケースカンファレンスを積極的に行い、年3回以上の児童セーフティネット研修会を開催している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケートを1学期・2学期・3学期に実施。5月・10月・12月に児童セーフティネット研修を行った</li> <li>・児童で心配な状況があった場合は、ケースカンファレンスを実施した(年間15回)</li> </ul>
<p>(3) 児童の育ちを互いに共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の育ちを促すために、児童指導の情報共有を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活項目の評価表を作成し、児童の育ちを共有できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創価の子(通知表)の生活項目について、生活項目の評価表をもとに、指導の目線を揃える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活項目の評価の目線を合わせるために、学期ごとに確認をした</li> </ul>

〔3〕 「世界市民」を育成するための教育の充実

今年度の重点目標	具体的取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) ユネスコスクール チャレンジ校としての 取り組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科と総合的学習 (創価タイム)の充実</li> <li>・SDGsをもとにした探 究型学習の実践</li> <li>・本校の豊かな自然環境 を生かした取り組みを 実施</li> <li>・スタートカリキュラム の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科と総合的学習(創価 タイム)の充実を図る</li> <li>・SDGsをもとにした探究型学 習の取り組みを行う</li> <li>・本校の豊かな自然環境を生か した取り組みを実施する</li> <li>・なだらかな小学校生活への移 行のために、スタートカリキ ュラムを充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ともに生きることを考える世 界市民の育成」を目標に、学習 のプロセスで探究している</li> <li>・SDGsをもとにした探究型学習 に取り組んでいる</li> <li>・本校の豊かな自然環境を生かし た取り組みを実施している</li> <li>・充実したスタートカリキュラム を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコスクールチ ャレンジ期間の取り 組みとして、各学年 がSDGsをもとにし た探究型学習を実 施。その取り組みを まとめ、2月15日 に、ユネスコスク ール加盟申請書を提出 した</li> <li>・なかよし農園の区割 り(いもの畝と藍の 畝の間を空ける)を 設け、栽培活動がよ りよく進められる環 境を整えた</li> <li>・入学前にはスタート プログラムとして、 動画を配信。入学後 は、スタートカリキ ュラムとして、学校 生活へのなだらかな 移行を目指して、生 活科の学習を進めた</li> </ul>
<p>(2) 国際交流活動の推 進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験交流(グローバル キャンプなど)の実施</li> <li>・アメリカ創価大学の学 生との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流行事を通して、世界 市民を育成する国際教育を進 める</li> <li>・5年生と創価大学留学生との 交流であるグローバルキャン プの実施する</li> <li>・アメリカ創価大学の学生との 交流を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルキャンプを実施して いる</li> <li>・アメリカ創価大学の学生と交流 している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルキャンプ を9月2日に実施し た</li> <li>・アメリカ創価大学生 との交流を1学期に 実施した</li> </ul>
<p>(3) 英語授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年のE T(イング リッシュタイム)の充 実</li> <li>・5・6年生における英 語授業の充実</li> <li>・5・6年生を対象にし た「創立者杯英語暗唱 大会」を実施</li> <li>・1年生から4年生を対 象にした「スペシャル イングリッシュデー」 の設定</li> <li>・6年生のオンライン留 学を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のET(イングリッシュタイム) を担当のもとで実施する とともに、英語カリキュラム を充実させる</li> <li>・5・6年生の英語授業の充実</li> <li>・5・6年生を対象にした「創 立者杯英語暗唱大会」を目標 に、児童が意欲的に英語の学 習に取り組めるようにする</li> <li>・1年生から4年生を対象にし た「スペシャル イングリッ シュデー」の取り組みを通 して英語への関心を高める</li> <li>・6年生のオンライン留学を通 して、英語への関心を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で担任の指導の下、朝の ET(イングリッシュタイム)で、 教材(Switch on)を活用してい る</li> <li>・英語授業の充実のために工夫を している</li> <li>・「創立者杯英語暗唱大会」を実 施している</li> <li>・「スペシャル イングリッ シュデー」を実施している</li> <li>・オンライン留学を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のイングリッシュ タイムを定めたカリ キュラムのもと実施 した</li> <li>・「第二回創立者杯英 語暗唱大会」を12 月17日に実施した</li> <li>・1・2学期に、1年生 ～4年生を対象に、 「スペシャル イング リッシュデー」を 実施した</li> <li>・6年生のオンライン 留学を2学期に準備 を行い、3学期に実 施した</li> </ul>

〔4〕時代に即した教育の推進

今年度の重点目標	具体的取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) メディア教育を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の活用とプログラミング学習の充実</li> <li>各教科の学習でICT機器を積極的に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を使用し、情報の時間で情報モラルについて学習する</li> <li>ICT機器を活用し、プログラミングや、アンプラグドプログラミングの学習を実施する</li> <li>Google クラスルームを活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルについて学習している</li> <li>高学年の情報の学習で、プログラミングについての授業を行っている</li> <li>アンプラグドプログラミングの学習を実施している</li> <li>Google クラスルームを活用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省の情報モラル動画を活用し、低学年でも発達段階を意識した指導を行った</li> <li>高学年は「Lego-Wedo」や「Lego-Spike」を使用。低学年はプログラミングロボット TrueTrue を使用してプログラミングについて学習した</li> <li>「順序（シーケンス）」の考え方を使得、指示を細分化し、並べるなどの学習をした</li> <li>Google クラスルームを全クラスで使用。写真や動画、アンケートの添付をはじめ、オンライン授業や欠席時の学習内容の連絡などにも活用した</li> </ul>
<p>(2) キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポートを活用し、一人一人のキャリア発達を促すための教育を推進</li> <li>卒業生に経験を聞く機会を積極的に設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポートを活用し、キャリア教育を実施していく</li> <li>卒業生に経験を聞く機会「ドリーム・プログラム」を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポートを活用し、キャリア教育を実施している</li> <li>「ドリーム・プログラム」を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学園の三大行事を中心に、各学年の計画のもと、キャリアパスポートの記録を行った</li> <li>「英知の日」記念の集いに、「ドリーム・プログラム」で、モデル・女優として活躍している卒業生(18期生)の曾田彩乃さんに来ていただき、児童に話をさせていただいた</li> <li>5年6年に特別講演として、難病と闘いながら、世界を舞台に活動している、織田友理子さん(創価学園・創価大学卒業生)にZoomを使って講演をしていただいた</li> </ul>

<p>(3) 小中連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学へのスムーズな進学ができるようにするためのブリッジプログラムの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中連携年間計画にしたがって、ブリッジプログラムを行う</li> <li>・ 中学へのスムーズな移行ができるように小・中の連携を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間計画に沿って、学園ステイ、中学生生活ガイダンス、校長面談を行っている</li> <li>・ 3学期に連絡シートなどを活用し、小中連絡会議を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月の学園ステイ、2月の中学生生活ガイダンスを通して、中学進学への目標を明確にすることができた</li> <li>・ 12月に校長面談を実施した</li> <li>・ 2月に小中連絡会議を行い、児童一人一人の状況を共有し、中学校との連携を図った</li> </ul>
--	---	--	--

〔5〕 規律正しい、安全で健康的な学校生活の確立

今年度の重点目標	具体取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 積極的な児童指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活面における評価指標(生活のようす)をもとにした児童への指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達段階を踏まえた「挨拶」「マナー」「ルール」の指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学時には、進んで挨拶し、「思いやりノートーク」を行っている</li> <li>・ 生活面における評価指標を定めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学時の安全やマナーの徹底のため、毎週の朝会で指導。全教員による毎朝の登校指導も実施した</li> <li>・ 2学期は特に、昼休みから清掃への切り替えに重点を置いて指導した</li> <li>・ 3学期は、挨拶を進んで実践できるように指導した</li> <li>・ 生活面における評価指標に則り指導を重ねていくことが必要</li> </ul>
<p>(2) 健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための十分な対策を取り、児童の健康管理に努める</li> <li>・ 健康増進、抵抗力をつけるための食育の充実と積極的な体力づくりの推進</li> <li>・ 保健室の利用状況の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童部やコロナ対策委員会を中心に、新型コロナウイルス感染拡大防止のための十分な対策を行う</li> <li>・ SDGsの取り組みと連動しながら、食の大切さについて学ぶ</li> <li>・ 体力向上計画に沿って各種の体育的な行事を実施する</li> <li>・ 全校児童の身心の健康状況を把握するために、情報を共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝会で児童に感染防止についての指導を行っている</li> <li>・ 手洗い、うがい、黙食を励行している</li> <li>・ SDGsの取り組みと連動しながら、食の大切さについて学んでいる</li> <li>・ 学期ごとに、各種の体力向上の取り組みを行っている</li> <li>・ 児童の身心の健康状況を把握するために、情報を共有している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝会で感染防止対策や歯科等に関する保健指導を実施した</li> <li>・ 給食時は黙食が徹底できたため、2月からはランチルームで一斉に食事ができるようになった。保健委員会が校内の石けんの補充に努め、手洗いうがいの励行も呼び掛けた</li> <li>・ 給食時にメニューについての説明を行い、食への関心を深めさせた</li> </ul>



			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期、体育部主導で中休みに全校持久走を実施した</li> <li>・保健日誌を通して日々の保健室利用・児童対応の状況を共有。学期末に校内傷病者発生状況を報告した</li> </ul>
<p>(3) 安心・安全の指導の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火、防犯、防災等の教育の強化</li> <li>・日常的な安全指導の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づいて、安心・安全のための指導・訓練を実施し、意識を高める</li> <li>・なかよし会（地域別児童班）の意義を再確認し、地域別指導を行う</li> <li>・学校生活のルールを遵守するための取り組みを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回の各種訓練（避難・防災・防犯）や安全教室行っている</li> <li>・学期ごとになかよし会での安全指導を行っている</li> <li>・児童部を中心に、学校生活のルールを遵守するための取り組みを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難・防災・防犯の避難訓練を実施した</li> <li>・今年度は不審者が侵入した際の避難訓練も行った</li> <li>・1年生・2年生は警察官、3年生・4年生は警備会社の方に担当していただき、「防犯教室」を実施した</li> <li>・冬休みを前になかよし会（話し合い活動）を実施。明年度から新区分でのなかよし会を実施する</li> <li>・毎月、保護者ポータルサイトに「安全だより」を掲載した</li> </ul>

〔6〕 教員の資質・能力向上のための研修の充実と業務改善 [研修の充実と業務改善]

今年度の重点目標	具体的取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) キャリア研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修や青年研修など、年代別のキャリア研修を実施し、教育力を高める</li> <li>・管理職による新任研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修会・青年研修会を年間計画に則って行う</li> <li>・管理職による新任研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回の初任者研修会・青年研修会を行い、教師力を高めている</li> <li>・管理職による新任研修の実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修会・青年研修会を月1回行った</li> <li>・月1回テーマを決めて、管理職による新任研修を実施した</li> </ul>
<p>(2) 教育力向上の研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外から講師を招き、教育力を高める研修を年間計画に沿って実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外研修へ積極的に参加したり、校外の講師を招いての研修を行ったりする</li> <li>・教育アドバイザーによる研修を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招いての研修を年2回以上行っている</li> <li>・教育アドバイザーによる研修を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師（金山奈良学園大学学長）を招いて、児童理解のための研修会をZoomで実施した</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育アドバイザーによる研修の実施</li> <li>・各自が研鑽した内容を共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育アドバイザーから積極的にアドバイスを受ける</li> <li>・各自が研鑽した内容を共有する機会を設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育アドバイザーから積極的にアドバイスを受けている</li> <li>・各自が研鑽した内容を共有する機会を設けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育アドバイザーに積極的に授業見学・指導を仰ぐ機会を設けた</li> <li>・夏休みに研修に参加した教員による研鑽内容の報告会を設けた</li> <li>・札幌創価幼稚園での教員研修を実施した</li> </ul>
<p>(3) 教務システムを活用し業務改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務システムを活用し、より効率的な業務を遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末機使用による会議等の効率化を図る</li> <li>・書類の標準化や会議のルールを改善し、会議の価値化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務システムの活用で教務作業の負担を軽減している</li> <li>・業務改善に努力している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議において討議事項を冒頭に行い、協議時間を確保した</li> <li>・職員会議議事録をデータ記録・プリントアウトできるようにし記録作業の負担軽減をはかった</li> </ul>

〔7〕 児童募集・家庭との連携の充実〔地域・家庭との連携〕

今年度の重点目標	具体的取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 募集行事・広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ツールの充実（新・学校案内の活用）</li> <li>・オープンスクールや学校説明会などの内容を工夫し、満足度の高い募集行事を行う</li> <li>・入試サポート miraicompass を活用し、学校の情報提供を行う</li> <li>・「関西創価小学校 きっずくらぶ」を充実させ、未就学者の登録を促し児童募集につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ツールの充実と、魅力的なオープンキャンパスなどの児童募集行事を行う</li> <li>・児童募集並びに入試サポートのために miraicompass を活用する</li> <li>・「関西創価小学校 きっずくらぶ」を通して本校の教育内容を紹介し、未就学児の「関西創価小学校 きっずくらぶ」への登録を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや SNS などを効果的に活用し、オープンスクールや学校説明会、募集行事の広報を行っている</li> <li>・魅力的なオープンキャンパスなどの児童募集行事を行っている</li> <li>・miraicompass を活用し学校の情報を提供している</li> <li>・「関西創価小学校 きっずくらぶ」を活用し、児童募集につなげている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試広報委員会を毎週実施し、児童募集への取り組みを検討した</li> <li>・事前申込・定量制でコロナ対応のイベントを実施した</li> <li>・miraicompass によるイベント～出願成立までの流れを構築した（申込者状況のモニタリング・参加者動向の予測を行った）</li> <li>・きっずくらぶ登録者にコンテンツを定期配信。アンケートも実施した</li> </ul>
<p>(2) 家庭への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メルポコを使用した家庭連携の迅速化</li> <li>・保護者 Google Classroom を活用し、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にメルポコを使用して、保護者にお知らせや学校の行事予定等を発信する</li> <li>・保護者ポータルサイトに、保護者に有効な情報を提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとにメルポコで行事予定や学校情報を発信している</li> <li>・保護者ポータルサイトに学校からの情報を提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メルポコで行事予定や保護者への確認事項を配信した</li> <li>・児童に配布した創価小だより、こんだて、ほけんだより、その他のお知らせも</li> </ul>

<p>学年・学級の情報を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者ポータルサイトを活用し情報を提供</li> <li>・遅刻・欠席連絡フォームの活用</li> <li>・保護者会での情報提供</li> <li>・学年だよりの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席・遅刻連絡フォームを整備し、保護者に通知、活用してもらう</li> <li>・保護者会で、必要な情報を提供していく</li> <li>・学年だよりの充実を図っていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席・遅刻連絡フォームを保護者ポータルサイト上に整備、保護者が活用している</li> <li>・保護者会で、必要な情報を提供している</li> <li>・学年だよりの充実を図っている</li> </ul>	<p>保護者ポータルサイトに掲載した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席・遅刻連絡フォームを保護者が活用している</li> <li>・「お問い合わせフォーム」を開設し、保護者がいつでも問い合わせができるようにした</li> <li>・3学期は、保護者に来校していただいて保護者会を開催することができた。保護者会では、パワーポイントを使って学校からの情報と確認事項を提示。プリントも配布した</li> <li>・保護者の方がいつでも問い合わせができるように「保護者問い合わせフォーム」を開設した</li> <li>・学年だよりを紙で配布することからGoogle Classroomで配信するようになった</li> <li>・学年だよりをA4判に変更し、タイムリーな記事を保護者に提供できるようにした</li> <li>・ホームページの充実も図った。動画も多く配信した</li> </ul>
--	---	--	--

## 7. 自己評価の結果と分析・学校関係者評価委員より

自己評価の結果と分析	学校関係者 評価委員より
<p><b>〔1〕「確かな学力」の定着と伸長を図るための教育内容の充実</b></p> <p>○児童に実施した授業者の評価アンケートの結果は、肯定的な回答が91.1%であった。肯定的な回答が95%を超えている項目もあり、児童の高い満足度を示していた。児童の自己評価も、どの項目も肯定的な回答が多かった。学力の定着を図るための各学年の取り組みや、教師が授業の充実を目指して日々研鑽してきた結果が反映されているように感じる</p> <p>○漢字検定には、3年生以上が受検し、一人一人の実力に合わせた個別指導を行った。今年度は、97.6%の児童が合格することができた。漢字検定への取り組みを通して児童の基礎学力の定着を図っていくことが必要であると確認した</p> <p>○学習の基礎となる読書への取り組みが評価され、令和5年度に「読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣表彰を受けることになった。児童の89%が「チャレンジ図書」（学年別課題図書）を読了できたので、更に児童が良書に親しめるよう、取り組みを勧めていきたい。また、入学前から読み聞かせに取り組んでもらえるように、合格者登校日に「読み聞かせリスト」と「読書ノート」を配布した。家庭での読み聞かせの重要性を保護者に伝えたところ、しっかり取り組んでくださった。1年生は本が大好きな児童が多く、朝読書（ノーベルタイム）の時間も静かに本を読んでいる。学校と家庭が連動しての取り組みは、大変重要である</p> <p>○保護者とも連携を深め、家庭学習にもしっかり取り組ませしていきたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の授業力向上の取り組みが良い。授業を公開し、全員で研鑽し合っていることは素晴らしい</li> <li>・漢字検定を通して、自宅学習の習慣が身に付いてきている。「読み聞かせノート」を配布し、入学前から取り組んでいることはとても良い。親子の貴重な時間ができる機会にもなっている</li> <li>・漢字検定の取り組みは、児童の目標が明確になり、個人に応じた達成感を得ることができる</li> <li>・読書活動に低学年から取り組んでいるのが良い。子どもの語彙力が増えている</li> <li>・電車の中での行き帰りで本を読んでいる子が多い。大変良い取り組みだと思う</li> <li>・中学では1分間スピーチに取り組んでいる。その中で関西創価小学校出身の子どもたちの語彙力が豊富であることを実感している。読書の成果であり、一貫教育の賜物である</li> </ul>
<p><b>〔2〕「豊かな人間性」を育むための教育の推進</b></p> <p>○豊かな人間性を育むために、学年の道徳教育推進委員会の教員を中心に、授業実践に取り組んだ。学校生活における諸課題を解決していくためにも、道徳の授業で、児童にしっかり考えさせることが重要であることを確認し、授業を展開した</p> <p>○いじめの早期発見のために、「学校生活アンケート」を年3回実施。心配な状況があれば、丁寧に迅速に児童に聞き取りを行った。児童が悩んでいることに耳を傾け、話を聞き、どの教員も懸命に対応した。また、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー、教育アドバイザーを交えてのケースカンファレンスを実施し、医療との連携や継続的な保護者との面談など、児童に応じたきめ細かな対応を心がけた。子どもの状況は様々であるので、それぞれのケースに合わせた的確な対応を心がけたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの問題は、保護者との信頼関係を結ばないとなかなか解決しない。先生方は、ゆっくりと話を聞く時間を工夫しながら、対応してくださっている</li> <li>・保護者としては、多くの先生方が自分の子どもを見てくれているという安心感がある</li> <li>・アンケートをとることは、とても良いことだと思う。我が子が悩んでいたことを書いて先生に伝えたことで、丁寧に誠実に対応していただいた。子どもが、自分だけで抱え込まないで過ごせると思う</li> </ul>
<p><b>〔3〕「世界市民」を育成するための教育の充実</b></p> <p>○ユネスコスクールチャレンジ校として、今まで総合的な学習の時間等で取り組んできたことを更に充実させ、探究型の学習を推進した。この項目の目標に対して、「十分達成できた」「少しは進んだ」と回答した教員が91.2%（自己評価の数値3.4）だったことから、取り組みへの手ごたえを感じていることが伺えた。これらの取り組みをまとめて、2月15日に、ユネスコスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩との触れ合いを通して、日常の行動や我が子の様子の中に、平和教育が息づいていることに感動している</li> </ul>

<p>ール加盟申請書を提出した。学習のまとめとして、3年生が2年生にパネルセッション形式で、平和学習についての発表を行った。3年生が生き生きと語っている姿に児童の育ちを感じた。今後は、ユネスコスクールネットワーク校の教員や児童生徒との交流にも力を入れていきたい。これらの活動を通して、世界市民としての素地を育てていきたい</p> <p>○外国語活動・英語教育の推進にも努力した。国際交流活動について、昨年度より進めることができたと感じている教員は82.3%（自己評価の数値3.1）。英語教育が推進されたと感じている教員は85.3%（自己評価の数値3.3）だった。昨年度から始まった、1年生から4年生までの「スペシャルイングリッシュデー」（関西創価中学・高校のネイティブの教員に来ていただき、英語で会話する）や、第二回英語暗唱大会を通して、児童の英語への関心はより高まり、学習意欲も向上した。6年生を対象にしたオンライン留学も充実させることができた。3年ぶりに創価大学の留学生を迎えて行った「グローバルキャンプ」（5年生）やアメリカ創価大学の学生に來校してもらって行った交流会（6年生）は、児童が世界に目を向ける機会となった。実際に触れ合うことが、児童のモチベーションに大きく影響していくことを実感した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が子が、どうしたら後輩が楽しんでくれるか。とよく話をしている</li> <li>・平和学習における、「平和の燈火」の取り組みも素晴らしい。子どもは、友人の作品を見て褒めていた</li> <li>・英語力向上のために暗唱大会をスタートしたが、レベルが高いことに驚いている</li> <li>・関西創価小学校から中学に進学してきた子の英語のレベルは非常に高い</li> <li>・中学も今年ユネスコスクールチャレンジ校になった。探究ブームが起こっているが、「何のために学ぶのか」と考えさせることが大切だと思う。苦しんでいる人を励ませる人に。世界の平和に貢献できる人に、との創立者の思いを大事にしていきたい</li> </ul>
<p><b>〔4〕時代に即した教育の推進</b></p> <p>○1年生・2年生はiPad、3年生から6年生までは、Chromebookを活用。校内のネットワークの環境の整備も進めていただいたので、学習活動で積極的に使用することができた。85.3%（自己評価の数値3.2）の教員がメディア教育を推進できたと回答している。低学年も、情報モラルやアンプラグドプログラミングの学習を行い、プログラミングロボット「True True」を使用してプログラミング的思考力を育成した。高学年のGoogleスライドを使ってのプレゼンテーション能力は昨年度より高まってきているように感じる。また、「LEGO WeDo2.0」「レゴRエデュケーションSPIKE」「スクラッチ3.0」を使って、プログラミング的思考力を育成することができた。来年度は、1人1台の端末環境を生かし、各教科で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実践していきたい</p> <p>○11月の「英知の日」には「ドリーム・プログラム」で、モデル・女優として活躍している卒業生(18期生)の曾田彩乃さんに来ていただき、児童に話をしていただいた。更に、5年6年に特別講演として、難病と闘いながら、世界を舞台に活動している、織田友理子さん(創価学園・創価大学卒業生)にZoomを使って講演をしていただいた。先輩方が社会で懸命に生きる姿は、未来に生きる児童にとって、大きな学びにつながる。卒業生と触れ合う機会を更に増やしていきたい</p> <p>○教員間の学習面での情報交換を行い、小中の連携を密にして、一貫教育のメリットを生かしていきたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立の小学校は端末を持ち帰っているがとても重たい。家で動画を観ているなどの問題点がある。メリットとしては、音読を録音したり、お互いの自主勉強を見合ったりすることがあげられる</li> <li>・端末の操作については、子どもの習得の速さに驚いている。学年があがるにつれて、家に持ち帰ることへの心配は高まると思う</li> <li>・卒業生の方に来ていただく機会が広がるのは有り難い。ぜひ、増やしていただきたい</li> <li>・今はGoogleスライドが使えることが当たり前で、小・中・高校で大いに活用している。一方で、端末を持ち帰るため、家庭でのゲームの問題が起きている。情報端末の使い方を教える必要がある</li> </ul>
<p><b>〔5〕規律正しい、安全で健康的な学校生活の確立</b></p> <p>○健康づくりの推進が進んだと回答した教員は82.3%（自己評価の数値3.0）。新型コロナウイルスの感染を防止し、児童が安心して学校生活を送れるよう、朝会で感染防止対策や健康に関する指導を実施した。給食時は黙食が徹底できたため、2月からは、ランチルームで一斉に食事ができるようになった。保健委員会が校内の石けんの補充に努め、手洗いうがいの励行も呼びかけた。安全で健康的な学校生活を送れるよう、児童が主体的に、取り組める活動を推進していきたい。3年ぶりに持久走とマラソン大会を実施することができたことは、健康・体力増進につながったと思う</p> <p>○本年度は、不審者が侵入したことを想定しての避難訓練を行った。また、1年生・2年生は警察官、3年生・4年生は警備会社の方に担当していただき「防犯教室」を実施。具体的な事例を通して、自分の身を守ることの大切さを教えていただいた。いざというときのための訓練は、非常に重要である</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に我が家の近隣で火事になった。いざという時、日頃の訓練しかないと感じた</li> <li>・マラソン大会やなわとび大会で、下位のメンバーまで表彰してもらっていることは、とても有り難い</li> <li>・学校から駅方面とは違う方向に帰る児童の下校の様子が素晴らしいと、地域の方が褒めておられた</li> </ul>

<p>○児童指導にあたっては、「他人の不幸の上に自分の幸福を築くことはしない」との学園の精神を体得できるよう、他者には思いやりのある行動をとっていくことが大事であると指導を重ねた。車内や駅のホームでのマナーについては引き続き指導が必要である</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が、児童がいつも車内で本を読んでいる姿が素晴らしいと、感心しておられた</li> <li>・東北では、想定外の避難訓練をしている事例があった。今後、想定外の訓練も必要だと感じた</li> </ul>
<p><b>〔6〕教員の資質・能力向上のための研修の充実と業務改善</b></p> <p>○初任者研修会・青年研修会を通して、授業改善や児童対応のあり方について研鑽した。教育アドバイザーによる授業参観、並びに授業後の懇談会は、授業力向上の糧になっている</p> <p>○授業参観後のアンケートを実施し、授業の向上に努めている</p> <p>○教務システムを活用して、業務改善を推進できたと回答した教員は82.3%（自己評価の数値3.0）だった。更に工夫と改善を重ねて、業務改善に努めていきたい</p> <p>○札幌創価幼稚園での教員研修を実施した。幼児期の育ちの姿をこの研修で学ぶことができた。来年度以降も幼稚園での研修を継続し、1年生の学びのスタートの充実を図っていきたい</p> <p>○昨年度から関西創価中学校の教員が小学校での研修に来られている。来年度は、小学校の教員が中学校に訪問して研修できる体制を整えていきたい</p> <p>○外部講師を招いての研修会を実施したり、また、オンラインも含めての外部研修会に積極的に参加できるようにしたりして、教員の資質・能力向上に努めていきたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な取り組みを行い、成果を出しているため、枚方市の学校にも、その取り組みの内容を共有してほしいと思う</li> <li>・毎回、授業参観のアンケートをとられていることは素晴らしいと思う。保護者の声を聴こうとされている姿勢がありがたい</li> <li>・教員の自己評価の数値は低いが、もっと高くてもよいと思う。保護者面談の際も、子どものことだけでなく、保護者のことも励まそうとされている心を感じる。教員の対応が素晴らしい</li> </ul>
<p><b>〔7〕児童募集・家庭との連携の充実</b></p> <p>○募集行事・広報活動の充実が進んだと回答した教員は85.3%（自己評価数値3.0）だった。幼児を対象にした「関西創価小学校きつずくらぶ」を通して、児童募集活動の充実を図ることによって、児童募集の目標を推進することができた。児童募集部が中心になって動画を作成したり、教育コラムを配信したりした。また、オリジナルキャラクターを作ってグッズを送るなど、関西創価小学校の素晴らしさを積極的にアピールすることができた</p> <p>○家庭との連携の充実を進めることができたと回答した教員は82.4%（自己評価の数値3.1）。保護者に学校からのお知らせをメルポコ（学校からのメール）を活用して積極的に配信した。保護者ポータルサイトには、学校からのお知らせを常時掲載。また、保護者Google Classroomには、学年や学級からのお知らせを配信した。この保護者Google Classroomは欠席者への連絡としても活用している。更に、今年度、保護者の方がいつでも問い合わせができるように「保護者問い合わせフォーム」を開設した。ホームページの充実も図り、動画も多く配信した。今後も保護者との連携を密にしていきたい。児童の活躍を保護者に発信できるよう、工夫をしていきたい</p> <p>○昨年度は、保護者の方に参加していただいた授業公開は開催できなかったが、今年度は保護者の方に児童の様子を見ていただくことができた。大変良かったと思う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の取り組みの素晴らしさを実感している。このことを地域にしっかり伝えていきたい</li> <li>・保護者の声をたくさん聴いてくださることがありがたい。家庭と学校との連携を密にして、児童の成長を見守っていきたい</li> <li>・少子化の傾向があるが、アフタースクールが来年度から実施されるので、大きく前進することと期待している</li> </ul>

## 8. 総括と改善

自己評価と学校関係者評価を踏まえ、今後の重点的な目標・改善方策および学校運営のあり方について以下にまとめた。

### (1) 今後、重点的に取り組む目標

本校の児童は、何事にも前向きに取り組んでいく姿勢を持っている。そのため、今までもコンクールや大会などで多くの成果を出してきた。その力を大いに称えながら、今後も児童一人一人の可能性を引き出していきたい。また、生活面・学習面において、主体的に取り組む姿勢を育て、確かな学力の定着につなげる。更に、探究学習や読書教育、道徳教育の取り組みを通して、思いやりの心を育てていく。「何のために学ぶのか」と児童に問いかけ、目的意識を深める関わりをしていくことも大事にしていきたい。本校の三大大行事である「栄光の日」「情熱の日」「英知の日」を節にしながら、児童が自身を振り返り、着実な成長を遂げていけるよう取り組みを進めていきたいと思う。

### (2) 今後の改善方策

確かな学力の定着のために、授業の充実を図っていく。個別最適の学びも進め、児童が「学ぶ喜び」、「できる喜び」を感じられるように、授業力の向上に努める。そのためにも、教科主任を中心に、今まで以上に各教科の研鑽を重ね、教員が積極的に研修会に参加できるようにしていく。オンラインによる「Find! アクティブラーナー」を活用し、研鑽に励める体制もとるようにする。本校の教育アドバイザーから授業改善のためのアドバイスを受けながら、児童が主体的に学習していくための手立ても検討していきたい。更に、児童が家庭学習にも主体的に取り組んでいけるように、各学年の家庭学習の目標時間を目指すよう児童に促しながら、家庭とも連携をとり、保護者会などでも家庭教育の重要性を語っていく。学力向上に向けての具体的な目標を立て、教員が団結して取り組んでいきたい。

児童が思いやりの心を深めていけるよう、道徳教育を中心に、心を育む教育を充実させる。その手立てとして、良書に親しむ取り組みを積極的に進める。「読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けた実践を進め、国語科の学習深化への連動も図っていきたい。これらの取り組みから、いじめを防止し、児童が安心して学校生活を送れるようにしていく。

### (3) 今後の学校運営のあり方

創立精神や教育方針を根幹に、「明るい子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」を育成していくこと、確かな学力の定着を目指していくことについて、教員間で十分な協議を重ねる。また、魅力ある授業作りを目指して、更なる教育力の向上を図る。保護者との連携は非常に重要であるため、学校と保護者が一体になって児童の育成に取り組める体制を作る。児童自身が抱える様々な課題（発達課題・学習課題）については、保護者とも連携し、丁寧な対応を心がけていきたい。ユネスコスクールチャレンジ校としての本校の取り組みを、より一層推進していきたいと思う。

以上